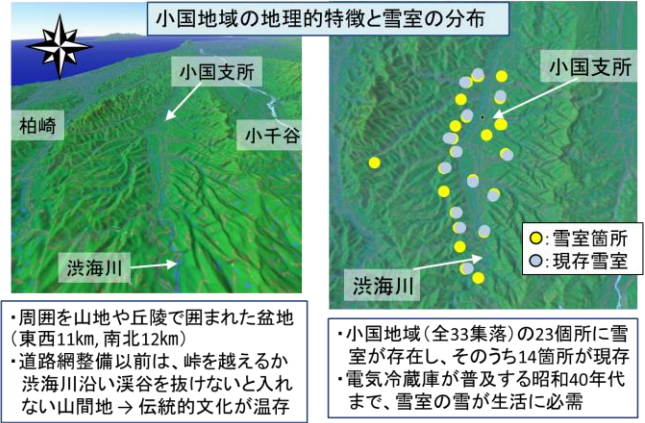


地域遺産の雪室を活用したスノーツーリズムの薦め

和泉 薫 (新潟大学名誉教授・元災害・復興科学研究所)

概要

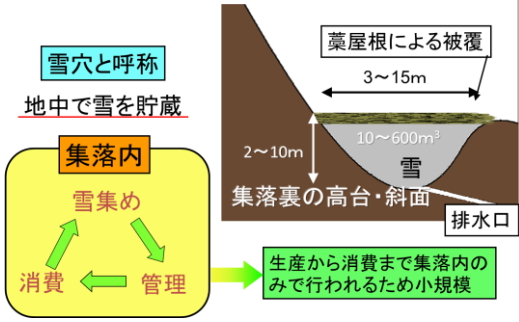
長岡市小国地域では、昭和40年代頃まで冬に雪室(雪穴)に蓄えた雪を病人の熱さましや食物の冷蔵用などに使っていました。その雪穴がかつては23箇所もあり、その内の14箇所がまだ現存していることが調査からわかりました。このような現在でも再利用可能な雪穴を復活し、豪雪地ならではの冬の雪かき・雪貯蔵、夏の雪冷熱体験など様々な雪に関わるアクティビティを提供するスノーツーリズム(雪体験型観光)を提案します。これに各地で行われているグリーンツーリズム(農業体験型観光)を併せると、地域と都会の人々が一年を通して雪・農業体験での交流が可能となり、地域の活性化につながると考えます。



最近まで夏の雪まつりで使っていた武石集落の雪室(雪穴)
石積壁、すり鉢形(上面:φ7.3m, 底面:φ4.5m, 深さ:4.5m)



小国地域の雪室



小国地域の雪室の特徴

- ✓ 集落裏高台・斜面に設置 雪集めに最適
- ✓ 雪穴下に排水管 融雪水を容易に排出
- ✓ 貯蔵雪を集落内で消費 集落民の生活に密着
- ✓ 小規模の雪室 谷底平野を囲み23箇所に雪室
- ✓ 狭い地域に多数の雪室 県内でも稀な密度



地域遺産の雪室を活用した地域活性化

グリーンツーリズム(農業体験型観光)

全国各地で行われている事業 → これに豪雪地ならではの付加価値を



スノーツーリズム(雪体験型観光)

非雪国の都会人に魅力的な雪室も含む雪を活用した様々なアクティビティを提供し、都会と農山村との一年を通じた交流により地域を活性化



- ①雪室への雪詰め
- ②米・清酒などの雪室搬入
- ③雪下ろし・雪かき体験
- ④サイノカミ・カマクラ体験
- ⑤コウゾ等の雪さらし体験



- ⑥凍みわり体験
- ⑦残雪の森ウォーキング
- ⑧雪形ウォッチング
- ⑨田植え体験
- ⑩夏野菜の種まき



- ⑪おぐに大花火大会
- ⑫雪冷熱・氷菓作成体験
- ⑬雪冷蔵農産物の賞味
- ⑭小国和紙・紙漉き体験



- ⑮稲刈り・野菜収穫体験
- ⑯次の雪室設置の準備
- ⑰雪囲い作成体験
- ⑱紅葉狩り

